

あなたもお読みください  
 真実つたえ希望はこぶ  
 しんぶん 赤旗  
 日刊 1カ月 3,497円  
 日曜版1カ月 823円

# 手良民報

生活相談はお気軽に  
 電話 78-0943 (高橋)  
 08051428896 (大場美広)

〈毎月赤旗読者に配達〉

〈民報のみは月100円〉  
 発行 日本共産党・手良支部

## 農業をとりまく厳しい環境下

J A 上伊那組合員懇談会

J A 上伊那の組合員懇談会は、手良では1月26・27日に4地区で行われました。野口では1月26日に野口公民館で行われました。役員を代表して伊藤博明監事よりあいさつがありました。

今年には異常気象や自然災害により農業生産現場では大きな被害が発生し苦労の多い年であったがJ A の事業はほぼ計画通りの実績であったこと、関税撤廃による農林水産業への打撃による

今年には異常気象や自然災害により農業生産現場では大きな被害が発生し苦労の多い年であったがJ A の事業はほぼ計画通りの実績であったこと、関税撤廃による農林水産業への打撃による

通しは右手県で6割、宮城県でも8割ということ。原簿事故による被害を受けている福島県では、計画すら立てられず、とりあえず宅地を4割、災害復興公営住宅を5割整備するそうです。勿論これまでの実際の復興の遅れを見ればこの計画ですら実施が心配な状況です。

### よしひろ通信 ⑫

## 東日本大震災から四年目に想う

間もなく東日本大震災から四年目を迎えます。約四十七万人の被災者の内、二十四万人の方が、今も避難生活を余儀なくされていることに心が痛みます(復興庁ホームページ昨年九月時点の数字による)。

しかし、復興特別税の所得税への2・1パーセントの上乗せは25年もの長期に渡りしつかり国民への負担増なのに、大企業の法人税への上乗せは当初の3年間を1年前倒しで廃止するという「アベコベ」政治。震災後、「日本は生き方を考え直す」と様々な所で言われました。命の尊厳、人と人の繋がりの大切さ。そして、原発事故の教訓からエネルギーの使い方も見

復興庁の計画では、来年の三月までに岩手・宮城の両県における宅地整備は5割、災害復興公営住宅の建設見

ていること、また手良のガソリンスタンドの現状などについても話されました。そのあと平成26年度事業の進捗状況、平成27年度事業計画について報告がありました。

参加者は野口10名、八ツ手12名、中坪6名、下手良10名の計38名でした。



直そうと。

しかし、あれからたった四年しか経っていないのに、そんなことは何処吹く風かと言わんばかりに、被災地の事など気にもかけず、原発を再稼働させようと躍起になっている姿勢は異常としか思えません。

国際問題への軍事的な対応に前のめりになり「国民の命を誰が守るのか?」などと声高に叫ぶよりも、今困っている国民をなぜ守らないのか。

核廃棄物の処理も出来ない危険な原発をなぜ再稼働させるのか。元々国民の命など守る気など無いという本音が透けているではありませんか。

日本共産党  
 安心・安全まっしぐら責任者  
 大場美広

## トンカチ教室 行われる

今年もまた手良小学校PTA主催の「トンカチ教室」が1月24日の午後、活性化促進会議、公民館、子ども会育成会の協力により手良小学校体育館で行われ、小学生50名、保護者41名が参加しました。

手良建設労働組合有志など10名の指導援助により親子で座面約25坪四方、高さ約20センチの子供用椅子を作りました。木材の材料はこの教室は作業を通して親子の絆を深め、子どもたちに物作りの楽しさを味わ



完成した椅子

わせようと平成9年(1997)に始まり毎年行われて今年で19回目を数えます。

## 中坪上村で 医療生協健康チェック

1月27日の夜、中坪上村のJ A 生活班の健康チェックが行われました。

内容は血圧、尿チェック、塩分テスト、ボディバランスチェック、塩分テスト、骨密度測定、そして最後に結果の説明がありました。

この健康チェックはみんなの手で自分たちの体の状態を自主的に点検し日常的に健康状態をつかみ必要なことをして健康で幸せに暮らせるよう

最後に膝関節や腰の痛みのある人が多いことからその原因、予防、痛みの軽減のための運動などの話と実技がありました。なお検査は無料で一年間に手良地区内で24回、207名の健康チェックが行われました。



健康チェック

## てらのさと

先日J A の組合員懇談会に参加した。役員代表のあいさつにもあったが農業・農協を取り巻く環境は厳しいものがある。自民党政権のTPP推進に続いて今度は農協「改革」である。今日の農業の困難、食糧自給率の低下は、歴代自民党政権が進めた農産物の輸入拡大や価格・所得政策の削減、中小経営の政策対策の排除などが原因である。▼ところで昨年の総選挙でJ A の政治団体「農政連」はこれまでくればと比例区は自主投票であったが選挙区は自民党であったと聞いている。▼組合員懇談会でも冗談として話が出されたが投票票の日、ケーブルアレ

を上げて万歳をしているのが映された。難しい立場にあるのはわかるがせめて、もう少し複雑な顔をしてもらえれば救われた組合員もいたのかも知れない。▼農協「改革」はまず中央会制度で押し切られた。J A 全中が大きな役割を果たしてきた環太平洋連携協定(TPP)反対の国民的な運動を力づくで押さえてきたためにはJ A の信用・共済などの分離、独占禁止法適用除外は、少なくともJ A の弱体化をねらっていると思われ。▼J A が今の自民党の農政に対してきつんと農民の立場に立っていかなくてはならないと思う。

(T)

歴史を見直し考える  
①その2 ③

第三章 検地帳には見えない  
素顔

田植えがすんだ田んぼに初夏の風がわたる様子、あるいは秋に黄金色に実った稲が穂を垂れて、その上をトンボが群れ飛ぶ光景を見ると、無条件に美しいと思われ、よくぞ瑞穂の国に生まれけりという感慨をもちます。それなのに瑞穂の国の言い方がなぜいけないのか、と多くの人は疑問を抱くことでしょう。この前までに、七世紀少し前に成立した日本国は班田収受の制度により、水田を課税対象とし、全ての民衆に土地を与えて租税を負担させようとした。しかし、実際には水田が決定的に不足し

ていたこと、また、百姓は必ずしも農民を意味する言葉ではなかったこと、この二つを網野氏の説を紹介しながら、お話ししてきました。さて、豊臣秀吉の刀狩り(兵農分離)によって、武士と商工業者は都市部に集められ、農民は農村に居住することになりました。この体制は江戸時代に入ると、いっそう強くなります。高校の日本史の教科書にも、村は「本百姓と呼ばれる中級以上の自営の農民」「水呑み百姓と呼ばれる貧農」「本百姓の家に隷属する下人」などによって構成されたと書いてあります。農民は自給自足の生活をし、「慶安の御触書」(1664年)、三代將軍家光の時にあるように警沢を慎み、ひたすら勤勞に励み、「年貢さえすまじ候へば、百姓

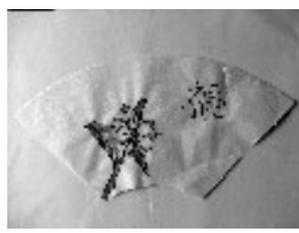
前後が一番危ない時のような気がするはねえ、新聞の訃報の知らせを見ていて一番多いのがこの年代だからさよと云うわけな。八ツ手のなかでも昭和十年代前後の女性が15人も亡くなっている現状を見ても八十歳を越える難しさを痛感するよ。

に、大変な事実になりました。元名4年(1618)、百姓の時国家がなんと北海道松前まで行って昆布を買い付け、これを京都・大阪に運んで売却したり、広大な塩浜を経営して製塩し北方(能代あたり)に売ったり、鉛山の開発を加賀藩に申請したり、等のことがわかってきたのです。百姓とはまったく別の、日本海航路の交易に活躍する多角的企業家の顔がくっきりと浮かんできたのでした。検地帳には土地持ちの百姓時国家しか出て来なかったのです。(北原明)



お手玉交流  
まめまめくらぶ  
JA生活班の「まめまめくらぶ」は11人のメンバーで作ったお手玉を持参し、2月3日、手良小学校4年生お手玉交流をしました。  
お手玉は1月下旬JAの二階でメンバーが協力して手作りして仕上げたもの。27人の児童と担任の先生、校長先生に3分ずつプレゼントし、昔から伝わる唄に合わせた遊び、現代的な遊びなどを行い、楽しい時間を過ごしました。  
児童の皆さん、男子も女子ものりので時に校歌にあわせてお手玉を手渡ししてゆくゲームでは笑い声がはじけ、もう一回もう一回と5回も楽しんでいました。  
後日頂戴したお礼のあいさつの手紙ではその後も皆で楽しんでる様子、家で家族と遊びたいという希望や、記されていくから職員一同も大変うれしく又一年目となる来年へつなげてゆきたいと一同喜んでいきます。(光)

動脈硬化度測定  
2月5日に本下の下伊那生協病院で医療生協手良班の希望費640万円余。  
今までの話所的なものは公民館で間に合いません。  
また、同じ敷地内にあった火の見やぐらも老朽化のため取り壊しました。火の見やぐらは他情報伝達の方法が発展している中で、一抹の寂しさはありますが、今後は新設しない方向です。



向山智恵子

道祖神祭り  
中坪の郷之坪常会では今年も春のきさしを感じる2月7日の夕方「道祖神祭り」が行なわれました。  
道祖神は集落のはずれや辻にあって村へ悪霊が入ることを防ぐとともに村人や旅人を守る神とも考えられています。また、安産や子育て、そして夫婦和合の神でもあると言われています。  
小学生が太鼓を叩いて集落内を歩き祭りがあがることを知らせ、集まった人たちは参拝し焚き火を囲んで豚汁を食べ、お神酒を飲み歓談します。子ども達には菓子袋が配られます。  
道祖神祭りは今は手良では中坪の郷之坪、米垣外境でしか行われていないようです。

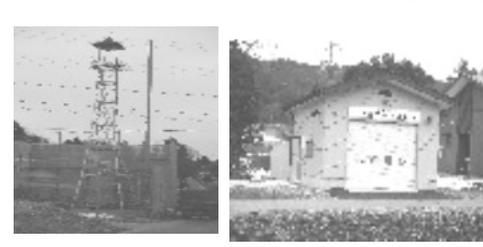
ついで最近、息子におふくろは今何歳になったのと聞かれて一寸戸惑った。どうして突然親の年が気になるのかと思ったら最近では職場で親のことが話題になってくること、我が身も他人事ではないなど危機感を持ったのかも知れない。意地悪はあさんは、即答を避けた。

ばあさんはここに焦点をあてて人生を考えようとしてきたけどさ、もうその時が目前に迫ってきたような年になったんだけど、さあどうしよう、あれこれ考えているだけで名案はなかなか浮かんでこないもんだね。書き残しておきたいこと、言い伝えておきたいことなどなど、頭の中がどうどう巡りしているだけさ。情けないもんだねえ。

聞いていた息子がいなく、それでいいのえ、まだまだ呆けられる困るから頑張ってもらわんと、思い掛けな返事だったがやっぱ嬉しかった。その先は誰にもわからない。人生は先が見えない不思議だらけの道だ。もし理想通りに歩いていけたら、それは奇跡だろう、その奇跡を信じてみたいものだ。先が見えない道、不思議な道をさ迷い歩いてゆけば遠くない所に人生の終点という行き止まりの標識が必ず出ている。

これでも、思い巡らす、生きることの最高の楽しみだ。その欲望も高齢者という道に入ると健康も欲しくなる。欲しい物が揃った頃思いつけない病に襲われると今まで溜め込んだ全ての物が要らないと思うようになった。本当に欲しいものは健康だったと気がついた時に人生の終着駅が見えてくるだろう。それまで頑張ってみよう。欲望と希望と一緒に先に見える道を行く、これが人生よね。

消防ポンプ車の車庫新築  
八ツ手  
八ツ手竹之内地籍にあった消防の詰め所は老朽化のため取り壊し公民館の敷地内に消防ポンプ車の車庫を3月5日までの工期で新築を進めています。  
木造平屋建、建坪39・7㎡、床はコンクリート張、



撤去され火の見櫓 新築された車庫

焚き火を囲んで  
(おねがい)  
身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。  
七八〇九四三 高橋

そうよ、そろそろ「蛍の光」の年代にさしかかったよなと答えたら、そんな節目があるのかいと不思議そうに問い返してきた。

これはねえ、意地悪はあさんの人生哲学よ、八十歳

それまでは汗水流して欲望と云う友達を道連れにして歩いて行く、そんな自分の姿を想像していると先が見えないことは幸せかもしれない。お金持ちになりたい、地位が欲しい、あれも

話し終えても息子は年を聞くことはなかった。

俳句 秋桜 高橋 忠  
紅葉濃く遠くの祭りに出でゆかん  
スナックのカラオケ独占秋深し  
百舌鳥鳴きて垣根の刈り込み急ぎの  
秋雨や「反原発」と街に立つ  
秋桜お地蔵様よの高く咲き



身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。  
七八〇九四三 高橋